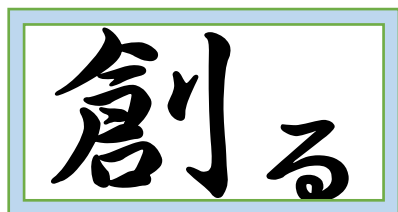


市内保育所・園、幼稚園、認定こども園、小中学校の保護者の皆様 地域の皆様へ

教育センターだより【10号】

令和6年2月14日 発行



518-0485

三重県名張市百合が丘西5番町25番地

事務室・教育よろず相談 1F

Tel 0595-64-8801 Fax 0595-64-8802

E-mail:kyouiku-ce@city.nabari.lg.jp

minakuru01@nabari-mie.ed.jp QRコード

教育支援センター(さくら教室) 2F

Tel 0595-63-7830 Fax 0595-64-8802

E-mail:sakura@nabari-mie.ed.jp

学校ボランティア室 1F

Tel 0595-64-8864

Fax 0595-64-8802



名張市学校・園・所美術展覧会が開催されました

令和5年12月1日(金)～12月4日(月)にかけて、名張市学校・園・所美術展覧会が百合が丘小学校で開催されました。本年度は、図画498点、工作・工芸268点、書写350点、計1,116点の出品があり、このうち保育所、保育園、認定こども園から143点の作品が出品されました。来場者数も、昨年度より215名多く、3,736名の方にご来場いただきました。

作品からは、子どもたちの作品に対する思いや熱意が感じられ、感受性豊かな個性あふれる作品がたくさん展示されていました。また、毎年継続して開催されていることから、学年が上がるごとに、子どもの成長を感じておられている保護者から感想をいただきました。

地域の方からは、「幼児から中学生まで見ごたえのある作品が並んでいて驚きました。芸術の素晴しさ、文字を丁寧に書く大切さを感じました。」等、子どもたちの表現する力に感嘆する言葉もたくさんいただきました。

今後も保護者や地域の方々に、作品を通して学校の取組や子どもたちの成長の様子を感じ取っていただける機会を大切にしていきたいと思います。本当にありがとうございました。



学校での
子どもた
ちの学び
を紹介し
ます。

個々の子どもたちを大切にしたICTの活用

名張市内小中学校では、ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた授業実践が進んでいます。本年度の教育センタープロジェクト研究では、「特別支援教育におけるICTの活用～個別最適な学びを通して～」をテーマに研究を進めています。

【動画機能の活用】

自立活動で、動画機能を活用し自分の動きや友だちの動きを確認して、お互いに教え合います。動画機能は、スロー再生や静止画面で何度も繰り返し確認することができるので、手や足を伸ばす運動など自分の動きを客観視できるため、理解しやすいです。また、言葉では、微かなニュアンスが子どもたちには伝わりにくいことがありますが、動画を使えば、視覚的に確認することができるので、理解が深まります。



もう少し、指先までまっすぐ伸ばすことができるといいね。

【ロイロノートの活用】

ソーシャルスキルトレーニングの学習で、ロイロノートのシンキングツールを活用して自分の考えを整理して焦点化します。シンキングツールを活用すると、紙に書いたり消したりする手間がなくなり、テキストを画面上で動かすことで考えを分類するため、子どもの思考を止めることなく活動できます。さらに、共有ノートを活用すれば、教師も子どもの画面を共有できるため、子どもがどのように考えているのか画面上で確認できます。



週末教育事業

探求創造伝承



週末教育事業では、「創造・探求・伝承」をキーワードとして、理科実験やものづくりなどの体験活動を実施しています。

「どうして、こうなるのかな？」と科学の不思議に興味や関心を持ったり、何度も試行錯誤しながら創作したりする体験を通して、子どもたちは、様々な事象に気づき、達成する喜びを実感しながら成長していくと思います。今後も、皆様のご参加をお待ちしています。

【週末教育事業取組の報告】

- 12月 2日(土) ダンボールで迷路を作ろう
- 12月16日(土) 水引細工をつくろう
- 1月 6日(土) 火起こし体験
- 1月27日(土) 万華鏡づくり
- 2月10日(土) おひなさまづくり



【週末教育事業今後の予定】

- 3月 2日(土) 電撃イライラ棒
- 3月16日(土) プログラミング教室



ホームページにもご案内がございます。ぜひ、ご覧ください。



ふるさと学習「なばり学」の取組



ふるさと学習「なばり学」学習資料集には、『ふるさと学習「なばり学」は、名張の自然、歴史、伝統、文化、産業、人等から、その素晴らしさを知り、生き方を考える学習です。名張のことを自分で調べたり、地域や保護者の人たちから教わったり、なかまと話し合うことでふるさとを知り、ふるさとに誇りを持ち、みなさんがふるさとを引き継ぎ発展させていこうとする一人となることを期待しています。』と記されています。子どもたちがいつまでも自分たちが生まれ育った名張を大切に思い、語れる人であってほしいと思っています。

本年度は、11月25日(土)実施の教育フォーラムにおいて、積み上げてきた学習の成果を見直し、これまでの取組の実践から「なばり学」を学ぶ意義や意図を再度、学校、地域共に確認することができました。

地域と協働して学ぶ「なばり学」の取組に、たくさんのボランティアの方にもご協力いただきましたこと、本当に感謝しております。

これからも、未来の名張を担う子どもたちのために、どうぞよろしくお願い申し上げます。

